

第1号議案 令和7年度事業報告について

令和7年度 事業 報告

1. 北海道における河畔林を主体とした自然環境の保全、復元及び活用

(1) 保全・復元

- ① しのつ河畔林では、樹木の健全な成長を促進させるため下草刈り、枯枝の排除、スズメバチの駆除等の保安全管理の他、林業試験場研究員の方々のご意見を参考に駆除範囲を設定し、酪農学園大学の大学生ボランティアの協力を得て特定外来種（オオハンゴンソウ）の除去を行いました。

・特定外来種駆除（令和7年5月10日（土）実施 参加学生数 26名）

- ② ニセコ・湯里では、南しりべし森林組合に下草刈りを委託し、6月、7月、9月において3回行いました。

- ③ 吉国では、南しりべし森林組合に下草刈りを委託し、8月に2回行いました。
また、南しりべし森林組合に委託し、2.77haにトドマツ（5,000本）、アカエゾマツ（540本）の植樹と5.93haの除伐を行いました。

- ④ 長沼は現状維持でした。

(2) 活用

- ① しのつ河畔林については、6月29日（日）に北広島市から23名の団体利用があり、個人利用は一般の来場者が散策、草花の観察、写真撮影などに活用していました。
また、包括連携協定を締結している酪農学園大学の事業に協力し、しのつ河畔林を活用した環境教育事業を実施しました。

○「酪農大×富良野自然塾 in しのつ河畔林」（令和7年10月4日（土） 参加者 13名）

- ・財団の活動紹介
- ・散策、体験講座「学生による楽しい環境教育」
- ・講義「ヒグマ等を含めた野生動物との関わりについて」

講師 富良野自然塾 事業統括 岸上 夏樹氏

- ② しのつ河畔林に設置している2か所の案内看板について補修塗装の修繕を行いました。
また、ニセコ、湯里に設置している「自然林を遺そう」の看板が老朽化したため、既存のものを撤去し、新たに看板を設置しました。

- ③ ニセコ、湯里、吉国、長沼では一般の方を立ち入り禁止とし樹木の保全に努めました。

2. 自然環境の保全、復元及び活用事業を目的とした土地等の取得

- 保全したい河畔林、溪畔林の情報をホームページ、南しりべし森林組合への聞き取り等で収集しましたが、特に寄せられた情報はありませんでした。

3. 自然保護思想の普及啓発

(1) ナショナルトラスト運動の普及啓発

- ① ナショナルトラスト運動の紹介を兼ねたリーフレットを江別市内の公民館などの公共施設や観光協会に配置した他、しのつ河畔林の来場者や自然セミナー、環境保護教育ツアー等の事業参加者に配布しました。
- ② ナショナルトラスト運動の普及啓発及び保全したい河畔林、溪畔林の情報収集を兼ねたはがき「森を知り自然との共生へ」1,064通を（国土交通省北海道局、北海道開発局、北海道総合振興局・振興局、江別市役所の関係者・関係部局）へ発送しました。
- ③ ホームページ、ブログを随時更新し、普及啓発に努めました。

(2) しんのつ河畔林での普及啓発

- ① 自然セミナーを江別市内及び近郊の方々を対象に開催しました。
 - 「よし！春だ！自然セミナー」（令和7年6月6日（金）開催 参加者 21名）
 - ・財団の活動紹介
 - ・講話「しのつ河畔林の成り立ちとその役割について」
講師 酪農学園大学 環境共生学類 准教授 松山 周平氏
 - ・散策「河畔林で育つ樹木や草花の紹介」
- ② しんのつ河畔林の理解を深めていただくため、しのつ河畔林のガイドブックを江別市内の公民館などの公共施設や観光協会に配置した他、しのつ河畔林の来場者や自然セミナー、環境保護教育ツアー等の事業参加者に配布しました。
- ③ しんのつ河畔林文庫を令和7年4月21日（月）～11月28日（金）の間、一般開放しました。

4. 環境教育の実施

- 鹿児島県の奄美大島・龍郷町において環境保護教育ツアーを実施しました。公募により選ばれた小学生20名が参加し、引率者として江別市の小学校教諭2名、高校生ボランティア5名、財団関係者2名、旅行会社より2名の総数31名で令和8年1月8日（木）～11日（日）の3泊4日の日程で実施いたしました。

① 第4回環境保護教育ツアーの内容

1日目（1/8）	伝統文化泥染め体験（Tシャツ）、タナガエビ捕り
2日目（1/9）	龍郷町の森散策、外来種駆除、室内体験（まこも、月桃、くびき茶作成、絵葉書作成）、龍郷町歴史学習
3日目（1/10）	モダマの森散策、マングローブカヌー体験、世界自然遺産センター見学、アマミノクロウサギミュージアム見学、八月踊り・北海盆踊り交流
4日目（1/11）	離島式

- ② ツアー延期に伴う説明会（令和7年7月12日（土）、江別市民会館で開催）
 - ・参加児童、引率者等の紹介

- ・ ツアー概要および今後の日程について説明
- ・ 令和 6 年度ツアーの活動報告および財団の事業説明 他
- ③ 高校生ボランティアとの意見交換会
(令和 7 年 8 月 3 日 (日)、江別市・bistro EDONA で開催)
・ 今後のツアーを実施するにあたっての内容について
・ 参加児童に伝えるべきこと、学んでいただきたいこと 他
- ④ 研修会 (令和 7 年 12 月 21 日 (日)、江別市民会館で開催)
・ ツアー概要および事前準備の説明
・ 講話「北海道と奄美大島の自然の違いについて」
講師 酪農学園大学 農食環境学群環境共生学類 学類長 吉中 厚裕氏
・ 実技練習「北海盆踊り」(11:45～12:15)
講師 三笠甚句保存会
- ⑤ 結団式 (令和 7 年 12 月 21 日 (日)、江別市民会館で開催)
・ 来賓挨拶
・ 参加児童、引率団の紹介 他
- ⑥ 報告会 (令和 8 年 2 月 15 日 (日)、江別市民会館で開催)
・ ツアー活動写真の上映
・ 参加児童の発表
・ 来賓からのご感想、団長総評 他

5. 表彰

- 都市緑化功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

本表彰は都市における緑化の推進・保全、都市公園の整備等に顕著な功績があった民間団体等を対象に贈られるもので、「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会において表彰式が行われ、感謝状が授与されました。(令和 7 年度は個人 14 名・3 団体が受賞)

・ 表彰式

と き 令和 7 年 10 月 31 日 (金)

ところ 東京都・日本消防会館

出席者 理事長 草野 貴友氏、専務理事 大木 孝志氏、事務局長 前田 裕二氏

・ 江別市長へ表敬訪問

と き 令和 7 年 11 月 13 日 (木)

ところ 江別市役所

出席者 理事長 草野 貴友氏、事務局長 前田 裕二氏

6. 基本財産における株式の保有について（草野作工株式会社の概要）

- ・ 名称 草野作工株式会社（昭和 28 年創立）
- ・ 所在地 江別市上江別西町 16 番地
- ・ 資本金 9,000 万円
- ・ 事業内容 建設業 完工高 37.2 億円（令和 7 年 5 月期決算）
- ・ 取締役数及び代表者氏名 6 名 草野 貴友
- ・ 監査役 2 名
- ・ 従業員数 62 名
- ・ 保有株数及び割合 90,000 株 50%
- ・ 保有理由 財団の事業推進のため
- ・ 株式の入手日 平成 7 年 1 月 25 日 58,000 株
平成 10 年 8 月 7 日 32,000 株
理事長草野貴友は代表取締役会長であり、理事草野量文は
代表取締役社長である
令和 7 年度 1,335 万円の寄付を草野作工株式会社より受ける
- ・ 株主総会での
議決権の行使 議長一任とする